

# 栃木県内の農産物等を活用し、 新しい商品の開発や販路開拓に 取り組みませんか？

助成対象者は、県内に在住する中小企業者等と  
農林漁業者との連携体です。



## フードバレーとちぎ農商工ファンド助成金の御案内

中小企業者等と農林漁業者が連携し、お互いの強みを活かした新商品・新技術等の開発や  
展示会への出展等に係る経費の一部を助成します。

### 農商工 連携成功の 4つの ポイント

#### ①中小企業者と農林漁業者が「有機的連携」

通常のビジネス上の取引関係を超越して協力することです。単なるビジネスでの原材料の売買、業務の受委託や資産の賃貸借ではなく、お互いの「経営資源」の有効活用が必要です。

#### ②お互いの経営資源を持ち寄り新しい事業に挑戦

経営資源とは資産や技術・技能、ノウハウ、知的財産等のことで、販路や人脈なども含まれます。ただし、お金は経営資源として認められていません。連携の相手方の経営資源と自分の経営資源の強みをお互いに活用することが必要です。

#### ③新商品若しくは新サービスを実現する事業

中小企業者・農林漁業者にとって、これまでに開発、生産・提供したことのないもので売れる見込みがあることです。このため、開発しようとする商品の優位性の明確化や顧客ニーズの把握が重要です。

#### ④連携事業者同士が、お互いに経営改善を実現

中小企業者と農林漁業者が“WIN-WIN”の関係を築くことであり、共に経営の改善や経営向上が図れる計画となる必要があります。

農林  
漁業者

連携

中小  
企業者

新商品等

# 農商工ファンド助成事業の概要

- フードバレーとちぎ農商工ファンドは、その運用益を活用することにより、食品製造業や農業をはじめとする食に関連する産業の活性化を図ることを目的としています。
- 中小企業者等と農林漁業者との連携体が行う「県産農産物等を活用した新商品等開発」や「創業」、「販路開拓」のための様々な取り組みに対し、各種助成金を交付します。

## 県内中小企業者等と県内農林漁業者との連携体への助成

事業名	助成対象事業	助成対象者	助成期間	助成率	助成限度額
①新商品等開発支援事業	県産農産物等を活用した新商品・新役務の実用化に向けた市場動向調査、試作品開発、その他研究開発に必要な経費への助成	県内中小企業者等と県内農林漁業者との連携体	1年	4/5以内	500万円
②創業支援事業	県内に事務所を設置して県産農産物等を活用した事業を行う者の創業時に要する事務所改装費、運営費への助成 ※《助成期間内に創業(登記完了)することが条件》	同上	1年	4/5以内	200万円
③販路開拓支援事業	県産農産物等を活用して開発した新商品・新役務の販路開拓のために行う市場動向調査、展示・商談会の開催・出展等に要する経費への助成	同上	1年	4/5以内	500万円
④技術高度化支援事業	県産農産物等の生産・加工技術、生産加工に必要な機械、装置、システム等の研究開発に要する経費への助成	同上	1年 (最大2年)	4/5以内	1,000万円

※①でいちごの加工食品の開発と認められる場合には、助成対象の選定にあたり一定の配慮を行います。

## 交付決定までの流れ

事業計画  
の募集

審査会

採否決定

(採択)  
交付申請書  
提出

交付  
決定

### 応募方法

- ①下記より事業計画書をダウンロードしていただくか、(公財)栃木県産業振興センター産業振興部新産業育成グループで事業計画書様式をお受取りください。
- ②事業内容等を分かりやすく記入し、必要書類を添付して応募期間内に(公財)栃木県産業振興センター産業振興部新産業育成グループまで御提出ください。  
※応募を検討される方はお早めに御相談ください。

なお、提出いただいた内容について、不備な点や不明な点がある場合は訂正等をお願いすることがありますので、あらかじめ御了承願います。

### 事業計画書ダウンロード

<http://www.tochigi-iin.or.jp/index/3/1/>



スーパーマーケット・トレードショー



アグリフードEXPO

※本ファンド事業を活用し、販路開拓を支援しています。

### 事業計画書提出先及びお問い合わせ先

公益財団法人栃木県産業振興センター 産業振興部 新産業育成グループ

Eメール: [shinsangyou@tochigi-iin.or.jp](mailto:shinsangyou@tochigi-iin.or.jp)

〒321-3226 栃木県宇都宮市ゆいの杜1-5-40 とちぎ産業創造プラザ内  
TEL 028-670-2608 FAX 028-670-2611

# 助成事業

## (株)ダイエー (株)日光ストロベリーパーク

### 【とちおとめ使用いちご杏仁】

<新商品等開発支援事業、支援機関事業(展示会出展)>



急速冷凍の比較、毎冷凍実験、凝固剤選定試験、苺の洗浄殺菌等の研究開発を実施し、とちおとめ使用いちご杏仁を商品化した。

## (株)シロン/6月の森農業生産法人ブルーベリーファーム(有) 農業生産法人有那須野ヶ原ファーム

### 【美肌酵素スムージー】

<新商品等開発支援事業、販路開拓支援事業、支援機関事業(展示会出展)>



県産素材を使用した無添加の美肌酵素スムージー「美スムージー」、「RED」「GREEN」「BLACK」の3種類を商品化した。万能粉末食材「食べるスムージー」としてFOODEX JAPAN 2017,2018,美食女子グランプリにて2年連続銀賞受賞。

## AN-RIZ-L'EAU(アンリロ) (有)フレンズファーム

### 【白いひよこ&黒いひよこ】

<新商品等開発支援事業>



ブランド卵を活用したプレーン(白いひよこ)と黒ゴマテイスト(黒いひよこ)のプリンを商品化した。

## (株)小林酒店/ (有)グリーンライス (株)井上清吉商店

### 【鹿沼産 酒米使用!純米吟醸「鹿沼娘」】

<新商品等開発支援事業>



鹿沼産の酒造好適米「ひとごち」を使用し、古峯神社の御神水を仕込み水にした「純米吟醸 鹿沼娘」を商品化した。

## 総美(有) (株)ベジファーム

### 【ボディデザインビスキュイ】

<新商品等開発支援事業>



食置き換え等のダイエットに適したビスケット形状の焼き菓子を試作。伝統食「しもつかれ」を基本にしながらも、苦手な人でも食べられる新感覚の美容健康食を商品化した。

## (有)中條商店 阿部栄

### 【鹿沼こんにゃくさんしょ煮】

<新商品等開発支援事業>



地元鹿沼市産の良質なこんにゃく芋粉を使用し、江戸時代中期から続く、手作り製法で一枚一枚製造した「鹿沼こんにゃく」を合成保存料を使用せず、鹿沼産の「さんしょの実」を入れた醤油ベースの田舎煮込みとして商品化した。

## 平山寛 (株)ジョイア・ミーア・ガーデン

### 【ルヴァンレーズン】

<新商品等開発支援事業、支援機関事業(展示会出展)>



那須地域で栽培されているパン用小麦「ゆめかおり」の全粒粉パンを商品化した。

## (株)白相酒造 両毛酪農協同組合

### 【ヨーグルトリキュール(麦焼酎ベース)】

<新商品等開発支援事業、支援機関事業(展示会出展)>



両毛酪農の美味しいヨーグルトを使用し、原材料の麦焼酎は全量栃木県産を使用した、純栃木産リキュールを商品化した。